

アジアの持続的開発についてIMFと国際会議

01



JICA、IMF、アジア低所得国の政策立案者が一堂に会した

10月12日、JICAは国際通貨基金(IMF)との共催で、国際会議「アジア低所得国の持続的開発—インフラ投資と金融セクター開発—」をJICA研究所で開催し、東ティモール、キルギス、カンボジアなどアジア14カ国から副首相や財務大臣、研究者ら約100人が参加しました。

会議のテーマは、「厳しい財政状況の中でアジア地域の低所得国が持続的な開発を達成していくため、いかにインフラ投資や金融セクター開発を行うべきか」。冒頭、緒方貞子JICA理事長は、「財政・金融面の専門性を持つIMFと、アジア地域のインフラ整備などに専門性を持つJICAが知見と経験を共有するよい機会」と述べました。

その後、インフラ投資への教訓や低所得国での金融セクター開発への課題などについて意見を交換。東ティモールやバングラデシュ、カンボジアなどの代表者が自国の経験を共有し、債券市場や資本市場の整備の必要性や、JICAやIMFへの期待が取り上げられました。総括セッションでは、IMFのアヌープ・シンアジア太平洋局長の進行の下、経済を安定させながらインフラ整備と金融セクター開発を行う必要性を確認し合いました。

JICAと横浜市が「包括的連携協定」締結

02



連携協定に署名した緒方理事長と林市長

JICAは10月25日、横浜市と「包括的連携協定」を締結しました。締結式には緒方貞子JICA理事長と林文子横浜市長が出席し、協定に署名しました。

2002年にJICA横浜を開設して以来、JICAと横浜市は開発途上国からの研修員受け入れや途上国への日本人専門家の派遣といった技術協力、市民向けの国際協力イベントの共催など、さまざまな分野で協力関係を築いてきました。この関係をさらに強化し、国際協力の効果的・効率的な実施と、国際都市としての横浜市の一層の発展を図るとともに、途上国の発展と世界の安定に貢献していくことが、「包括的連携協定」の目的となっています。

これを機に、JICAと横浜市は従来の連携を継続・促進するとともに、新たな分野での連携も進めていく予定。その一例が、途上国での都市課題の解決に向けた支援や、横浜市内の企業を対象にした海外展開に向けたセミナーなどの合同開催です。また、林市長が提案した「女性企業家のためのプログラム」の一環としてセミナーなどを共催し、途上国での女性の社会参画促進にJICAのノウハウを活用することも計画しています。

世界各地で自然災害、JICAは緊急支援を実施

03

大雨、洪水、地震など、世界各地で発生した自然災害で多くの国々が被害を受け、支援を必要としています。そのためJICAは各国に対して緊急援助物資を供与しました。(11月15日現在)

■東南アジア

被害状況…夏からの豪雨による洪水で浸水被害などが発生

援助対象国…タイ、カンボジア、ミャンマー、ベトナム

支援内容…①緊急援助物資…テント、毛布、プラスチックシート、スリーピングマット、ポリタンク、浄水器、発電機など。②国際緊急援助隊…特に被害が深刻なタイには、洪水時の上水道施設、地下鉄、空港施設の運用・維持管理や排水ポンプ車を使った支援を行うため、専門家チームを派遣

■中米

被害状況…10月の大雨により、地滑りや洪水などの被害が発生

援助対象国…エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア

支援内容(緊急援助物資)…スリーピングマット、毛布、発電機など

■ツバル

被害状況…海面の水温が低下するラニーニャ現象により今年初めからまとまった降雨がなく、水不足が発生。飲料水の水质悪化で病気が増加

支援内容(緊急援助物資)…生活用水確保のため、海水淡水化装置の補修用部品

■トルコ

被害状況…10月25日に発生した東部ワン県での地震被害

支援内容(緊急援助物資)…テントなど

名古屋で「ワールドコラボフェスタ2011」開催

04

10月22・23日、愛知県名古屋市で中部地域最大の国際協力イベント「ワールドコラボフェスタ2011」がJICA中部を含む5団体の主催により開催されました。今年のテーマは「なんとかしなきゃ!」つながっている私たちの世界」。2日間で約9万人が来場しました。

JICAブースでは、ゲームとクイズを通じてミレニアム開発目標(MDGs)の理解を深めるとともに、JICAの各国での取り組みを紹介。また、JICAボランティアに関心のある人に個別相談を実施するなど、たくさんの人に国際協力の必要性を考えるきっかけを提供できました。

また、特設ステージでは、世界を知ることができるイベントを開催。1日目の「なんとかしなきゃ!」途上国レポート」では、俳優の塩谷瞬さんとタレントでなごや地球ひろばオフィシャルサポーターの原田さとみさん、国際協力レポーター*が、途上国訪問を通じて感じた課題と日本の国際協力の取り組みについて報告しました。2日目には、医師の桑山紀彦さんによる「地球のステージ」東日本大震災と国際協力「版」を開催。青年海外協力隊OB、地元NGO、ラジオDJでなごや地球ひろばオフィシャルサポーターの空木マイカさんを交えたトークセッションも行われ、多くの来場者が聞き入っていました。



途上国の現状について訴えた塩谷さん(左)と原田さん

*政府開発援助(ODA)の理解促進のため、一般の人に国際協力の現場を視察してもらうプログラム。